

## 「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいます。防犯活動について、県民の皆さんがどのような意識をお持ちであるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和3年11月

★対象者：県政モニター298人

★回答数：233人(回収率78.2%)

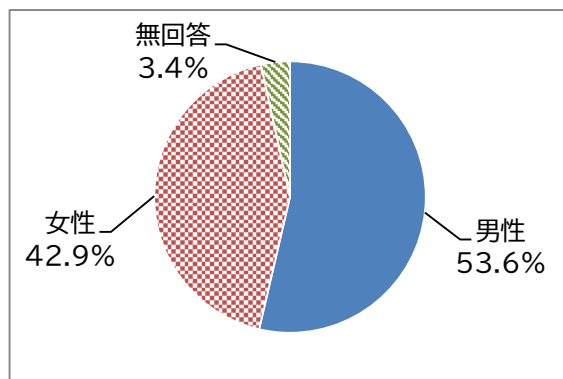
★担当課：総合企画部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

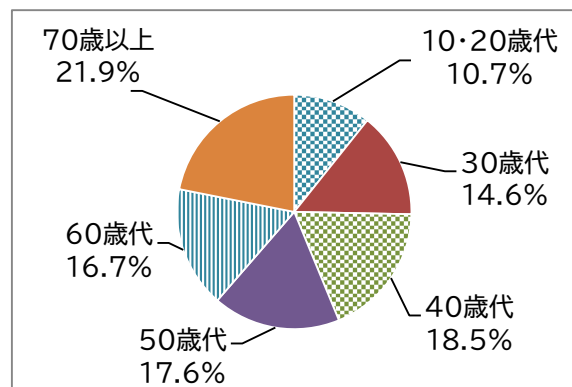
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	125	53.6
女性	100	42.9
無回答	8	3.4
合計	233	100.0



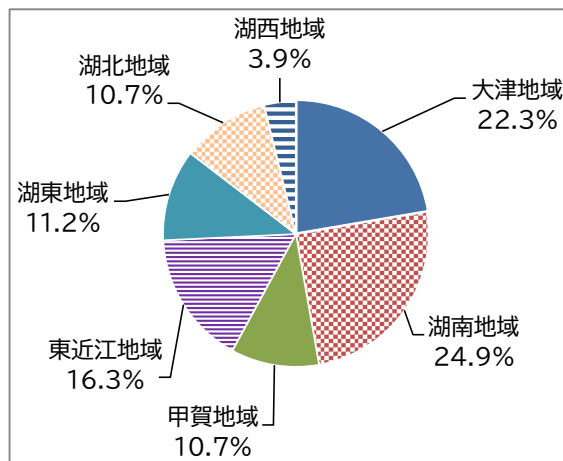
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	10.7
30歳代	34	14.6
40歳代	43	18.5
50歳代	41	17.6
60歳代	39	16.7
70歳以上	51	21.9
合計	233	100.0



#### ◆地域

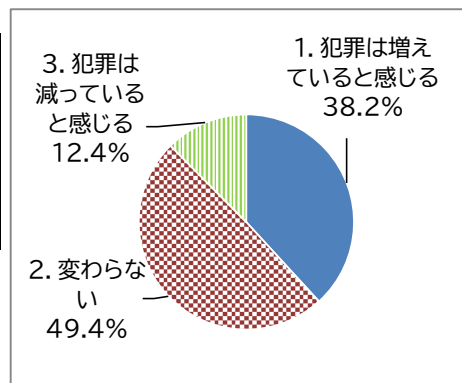
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	52	22.3
湖南地域	58	24.9
甲賀地域	25	10.7
東近江地域	38	16.3
湖東地域	26	11.2
湖北地域	25	10.7
湖西地域	9	3.9
合計	233	100.0



問1. 昨年(令和2年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。

(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	89	38.2
2. 変わらない	115	49.4
3. 犯罪は減っていると感じる	29	12.4
合計	233	100.0

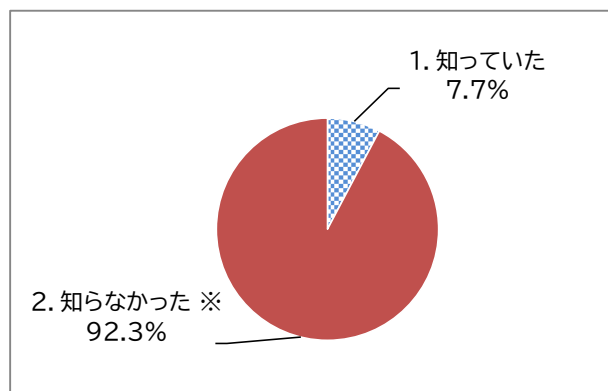


問2. 昨年(令和2年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているか知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ n=233 [令和2年刑法犯認知件数6,039件 前年比732件の減少])

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	18	7.7
2. 知らなかった ※	215	92.3
合計	233	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



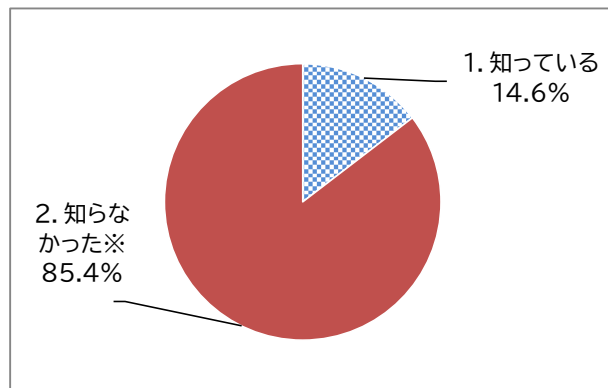
問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議\*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

[令和3年の犯罪抑止目標:「治安の良さを実感できる社会を目指して!」~刑法犯認知件数5,500件以下、特殊詐欺被害80件以下、住宅侵入盗被害150件以下]

\*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体に構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取組を実践しています。

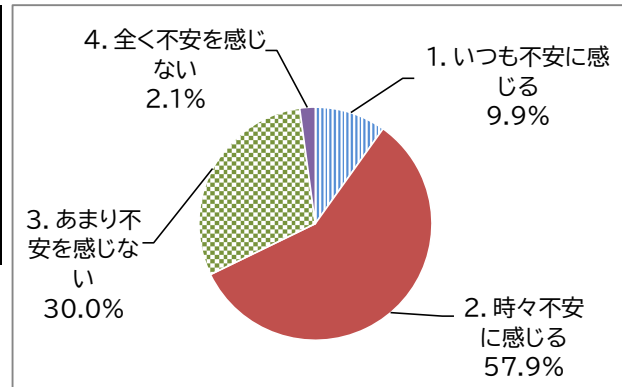
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	34	14.6
2. 知らなかった※	199	85.4
合計	233	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



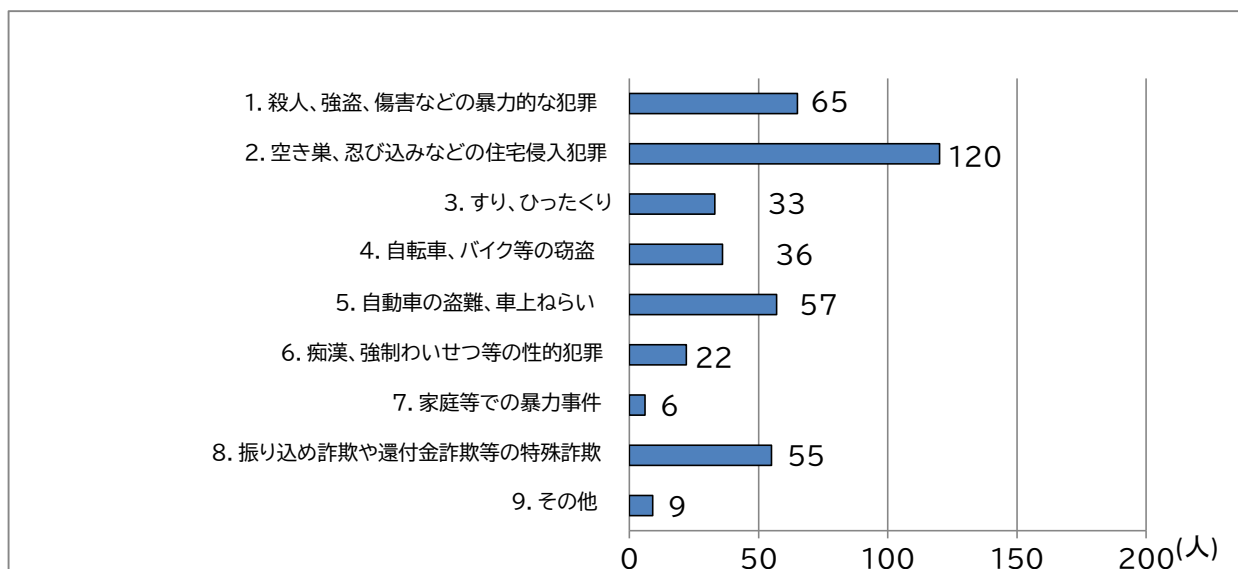
問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。  
(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	23	9.9
2. 時々不安を感じる	135	57.9
3. あまり不安を感じない	70	30.0
4. 全く不安を感じない	5	2.1
合計	233	100.0



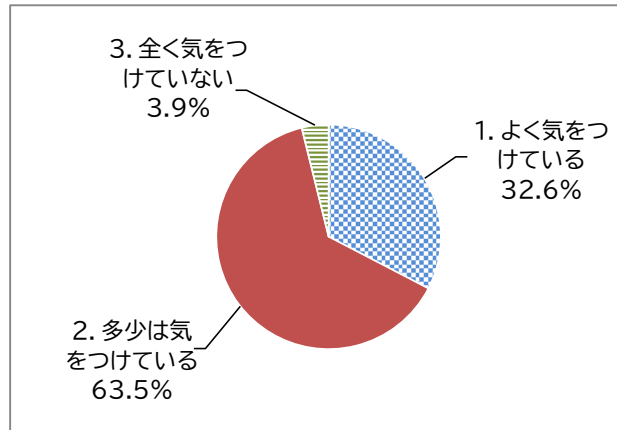
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」または「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じていますか。(回答チェックは3つまで n=158)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	65	41.1
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	120	75.9
3. すり、ひったくり	33	20.9
4. 自転車、バイク等の窃盗	36	22.8
5. 自動車の盗難、車上ねらい	57	36.1
6. 痴漢、強制わいせつ等の性的犯罪	22	13.9
7. 家庭等での暴力事件	6	3.8
8. 振り込め詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺	55	34.8
9. その他	9	5.7



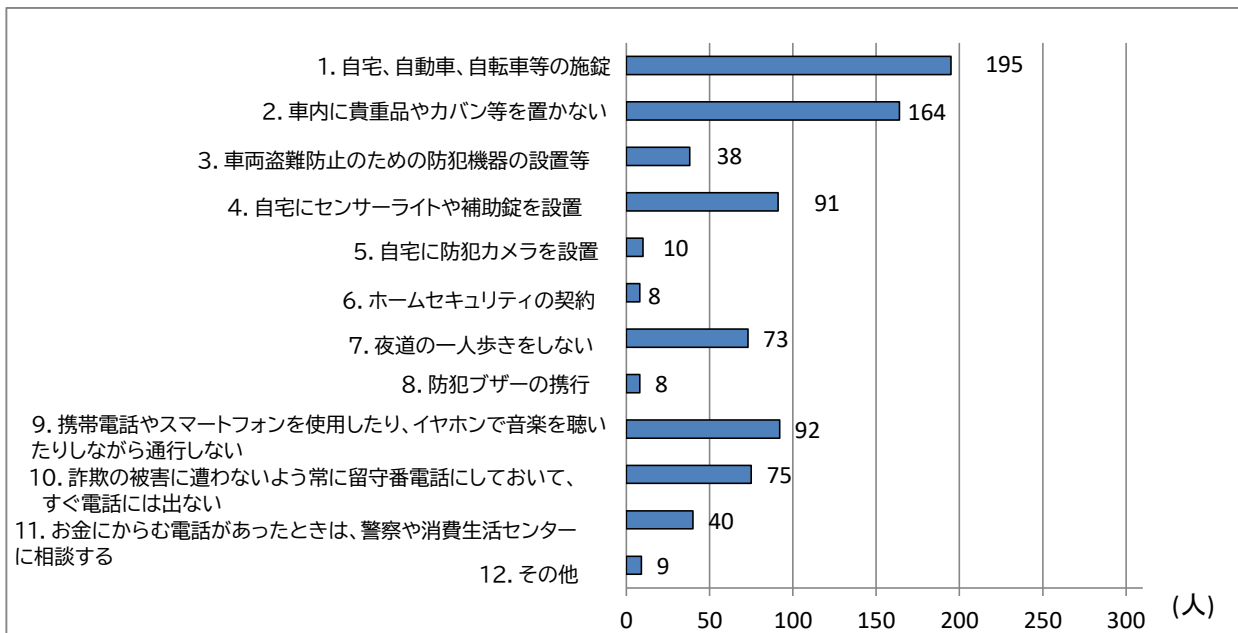
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	76	32.6
2. 多少は気をつけている	148	63.5
3. 全く気をつけていない	9	3.9
合計	233	100.0



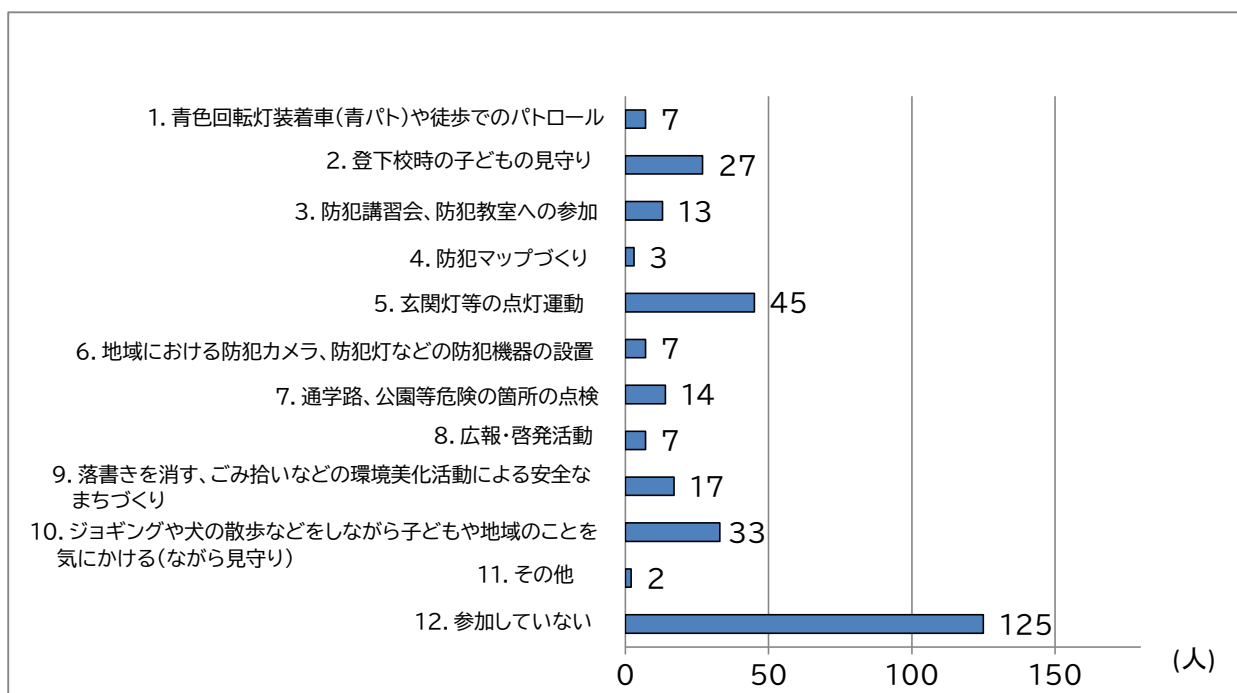
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお尋ねします。あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=224)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	195	87.1
2. 車内に貴重品やカバン等を置かない	164	73.2
3. 車両盗難防止のための防犯機器の設置等	38	17.0
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	91	40.6
5. 自宅に防犯カメラを設置	10	4.5
6. ホームセキュリティの契約	8	3.6
7. 夜道の一人歩きをしない	73	32.6
8. 防犯ブザーの携行	8	3.6
9. 携帯電話やスマートフォンを使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	92	41.1
10. 詐欺の被害に遭わないよう常に留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	75	33.5
11. お金にからむ電話があったときは、警察や消費生活センターに相談する	40	17.9
12. その他	9	4.0



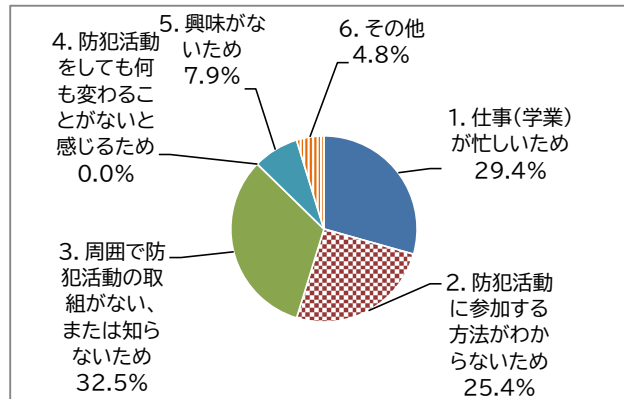
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。(「12.参加していない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 青色回転灯装着車(青パト)や徒歩でのパトロール	7	3.0
2. 登下校時の子どもの見守り	27	11.6
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	13	5.6
4. 防犯マップづくり	3	1.3
5. 玄関灯等の点灯運動	45	19.3
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	7	3.0
7. 通学路、公園等の危険箇所の点検	14	6.0
8. 広報・啓発活動	7	3.0
9. 落書きを消す、ごみ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	17	7.3
10. ジョギングや犬の散歩などをしながら子どもや地域のことを気にかける(ながら見守り)	33	14.2
11. その他	2	0.9
12. 参加していない	125	53.6



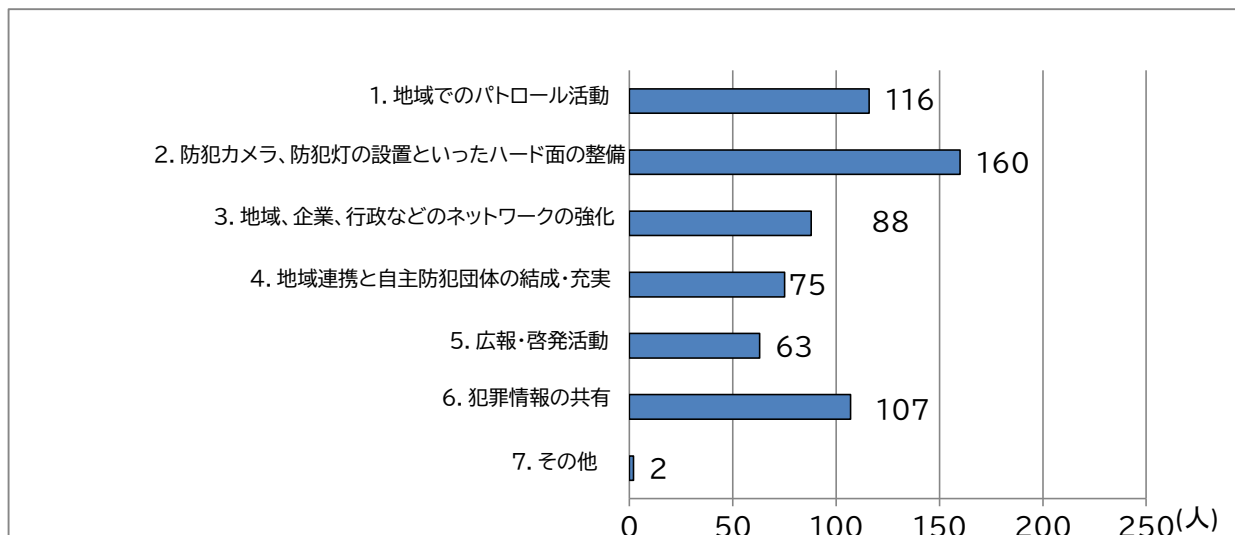
問9. 問8で「12. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=125 重複1)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	37	29.4
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	32	25.4
3. 周囲で防犯活動の取組がない、または知らないため	41	32.5
4. 防犯活動をしてても何も変わることがないと感じるため	0	0.0
5. 興味がないため	10	7.9
6. その他	6	4.8
合計	126	100.0



問10. 今後望まれる地域による防犯対策の取組は、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=233)

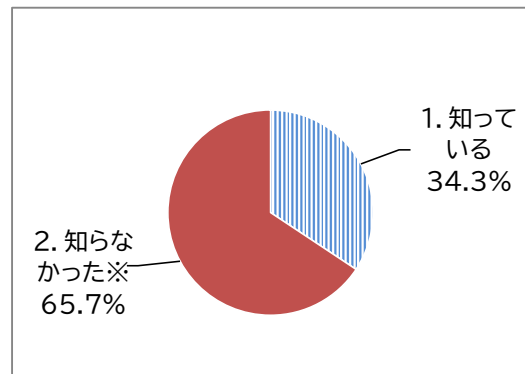
項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	116	49.8
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	160	68.7
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	88	37.8
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	75	32.2
5. 広報・啓発活動	63	27.0
6. 犯罪情報の共有	107	45.9
7. その他	2	0.9



問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を駅や大型店舗等の街頭において実施しているのを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

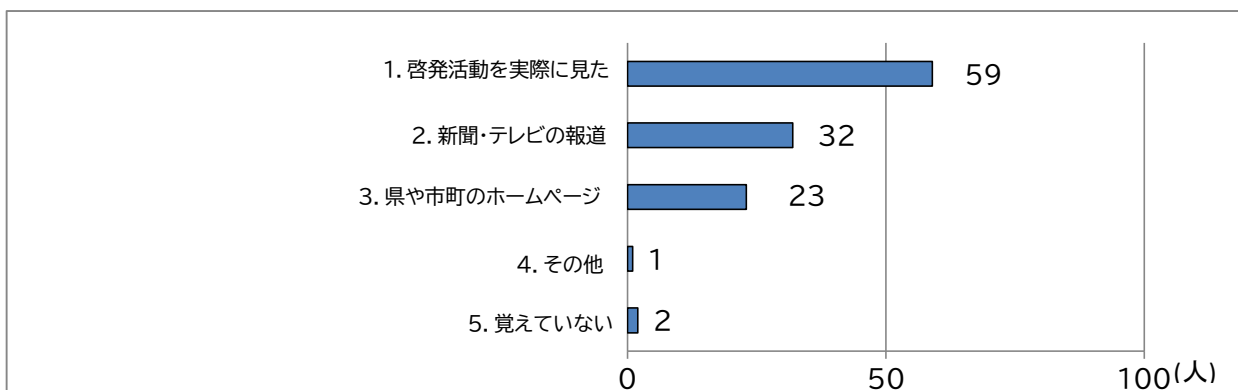
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	80	34.3
2. 知らなかった※	153	65.7
合計	233	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



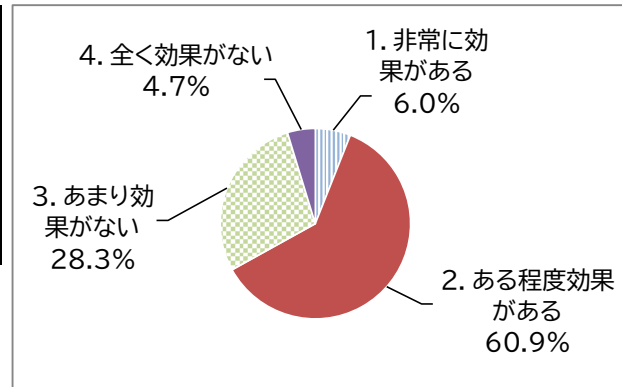
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(「5. 覚えていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=80)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	59	73.8
2. 新聞・テレビの報道	32	40.0
3. 県や市町のホームページ	23	28.8
4. その他	1	1.3
5. 覚えていない	2	2.5



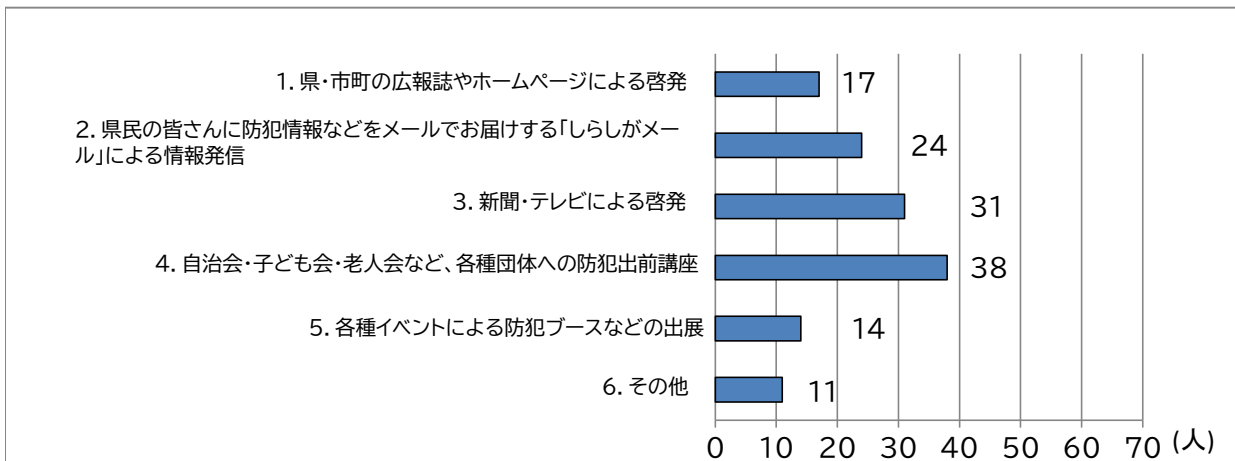
問13. 駅や大型店舗等の街頭でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	14	6.0
2. ある程度効果がある	142	60.9
3. あまり効果がない	66	28.3
4. 全く効果がない	11	4.7
合計	233	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」または「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=77)

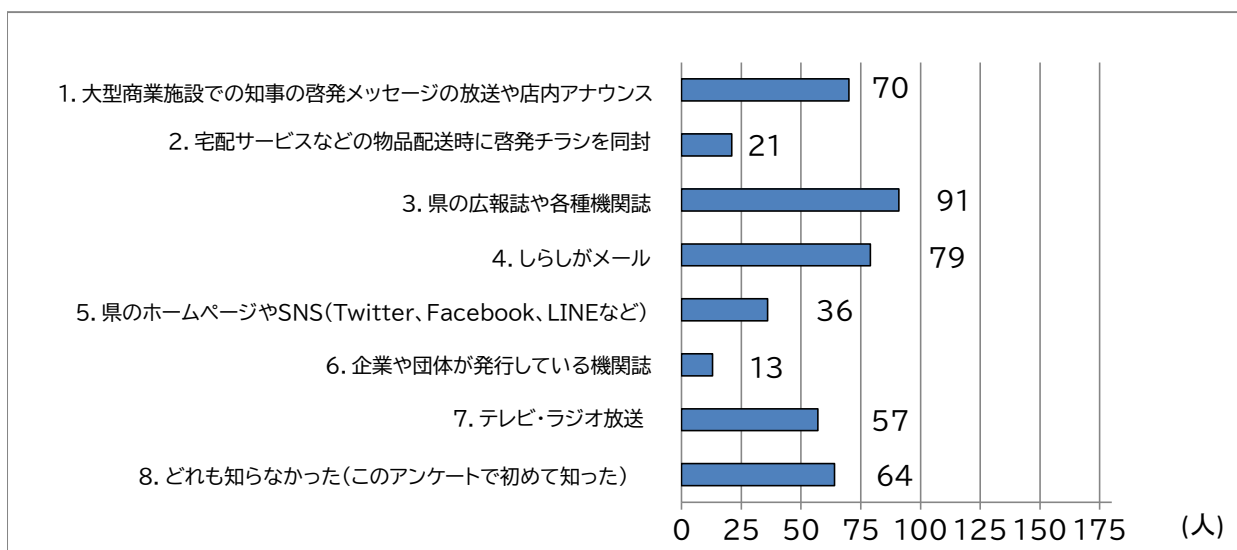
項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	17	22.1
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらしがメール」による情報発信	24	31.2
3. 新聞・テレビによる啓発	31	40.3
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	38	49.4
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	14	18.2
6. その他	11	14.3





問15. 昨年より新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、非接触の啓発も行っていますが、知っていますか。(「8.どれも知らなかった[このアンケートで初めて知った]」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=233)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大型商業施設での知事の啓発メッセージの放送や店内アナウンス	70	30.0
2. 宅配サービスなどの物品配送時に啓発チラシを同封	21	9.0
3. 県の広報誌や各種機関誌	91	39.1
4. しらしがメール	79	33.9
5. 県のホームページやSNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	36	15.5
6. 企業や団体が発行している機関誌	13	5.6
7. テレビ・ラジオ放送	57	24.5
8. どれも知らなかった(このアンケートで初めて知った)	64	27.5



問16. 安全なまちづくりに関して、御意見等がありましたらお聞かせください。(一部)

#### ◎特殊詐欺等高齢者被害の防止について

○高齢者を狙った詐欺の被害がなくなる。やはり地域住民が主体で個別に高齢者を訪問するなどの活動が効果的と思われる。その為の自治会への依頼や予算補助などの制度が必要。

○犯罪件数全体は減少しているかもしれないが、特殊詐欺の件数や金額は増加しているのではないかと？高齢者のみの家などへの交番からや自治会からの見回りや、留守電対策などを広めるなどがもっとできそうな気がする。

○詐欺電話を止めるには、留守番電話だけでは、不完全です。高度な振り込め詐欺防止機能がある電話が必要です。

○一人暮らしの高齢者の社会との孤立をなくすことが犯罪被害をなくす大事な方法だと思います。

#### ◎子ども・女性対象犯罪について

○夜遅くに道を歩いている小さな子を見て心配になるが、不審者と思われるので声をかけられなくなった。その子は、習い事に行くために一人で夜道を歩いていた様子。親はきっと家に居て、「一人で行ってきなさい」という感じだったのでと思われる。夜道は親や大人と一緒に歩くことが必要ということを通じて初めて、『不審者』に気を付ける段階になる。親や周りの大人がまず、子供を夜に一人で歩かせてはいけないことを勉強するべき。

○最近市内で爆破予告騒ぎや強盗未遂事件などがメールや防災無線で知らされました。爆破予告については、数年前も同じようなことがあった記憶がありますが、それにより学校閉鎖、市役所閉鎖となり、雨の中、学外への急な避難もあり子供たちは非常に怖い思いをしました。何も無く、そして避難と閉鎖を英断された市には感謝です。何かが起こってからでは仕方がないので。また犯人を見つけた、もしくは逮捕したという結果も併せて知らせてほしいと思います。

#### ◎防犯カメラや防犯灯の設置等の環境整備について

○防犯カメラや街灯の設置個所を増やすなどは毎年の予算で実施していったほしい。まだ滋賀県は隣に住んでる人が誰かわからないという地域は少ないと思います。なので、地域の挨拶運動などで顔合わせや声掛けで、ある程度の防犯対策は出来ると思います。小学生に”行ってらっしゃい” ”お帰り” と声をかけるだけでも見守りになると思います。お年寄りには、”天気いいですね” ”寒くなりましたね” など声をかける事で地域の安全につながれば良いと思います。

○行き過ぎた監視は、好ましくないが監視カメラが有るというだけでも犯罪抑止力にはなるので、カメラ設置と表示をバランスよく行い、その上で運用できれば良いと思います。

○街灯で町を明るくすると安心感が増すと思います。買って食べたようなものや粗大ごみがよく捨てられている道路では監視カメラを設置してもらえるとよいと思います。

○防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備が一番効果的だと思います。

#### ◎自助・共助・自主防犯活動の取組について

○今回のアンケート内容については、ある意味警察の管理監督範疇との認識でした。パトロールという言葉自体、警察の職務であり、なかなか一般庶民が積極的に行う内容ではないと捉えておりました。ただ記載されているように、守ってもらうというスタンスだけでなく、そもそも事故、事件に巻き込まれないように注意喚起する事が大前提と捉える必要があり、未然に防ぐ行動を取る事で事件件数を減らす出発点にもなると気が付きました。今一度観点を改めて、身の回りでのパトロールから把握してみたいと思いました。

○地域で子どもたちの通学に付き添ってくださっている「スクールガード」の方々の活動には、頭が下がります。都会、田舎に拘らず、不審者が現れたり、交通事故の心配があったりと、心配の種は尽きません。スクールガードがいらない地域もありますが、どの地域にも見守ってくださる方が配置できるようにできないものではないでしょうか。暗い箇所への街灯の設置も必要だと思います。太陽光を利用した環境にやさしい街灯も設置可能でしょうか。安全なまちづくりのためには、日頃の人間関係が重要になってくると思います。隣の人もあまり顔を合わせなくなってきている昨今、人と人をつなぐ暮らしを一人ひとりが意識的に作り上げていかなくてはならないのかもしれないと思います。

○私が住んでいる町内でも高齢者が年々増加しています、色々な活動に制約が出てきていますので限られた時間、限られた人材、限られた資源を使つての活動に優先順位を付けて考える必要が有るのではと思います。

## ◎警察の取組について

○自治会から回覧される犯罪行為についてのお知らせや、所轄警察署からの管内犯罪報告チラシなどを見ることにより、身近なところでも各種の刑法犯罪が起こっていることを知ることができ、有用である。誰もが自分の過失により犯罪行為が発生することが無いよういつも注意を怠らないようにすべきである。私は近所の一人暮らし老人の方々に、時々注意しながら暮らすよう話しかけをしている。

○高齢者の為に自宅やマンションへの警察官や民生委員など訪問をしてほしい。

## ◎広報啓発・情報発信について

○捨てられてしまうチラシを1000枚配るよりも、渡すべきターゲット(たとえば小学生の子供のいそいな親御さん)を絞ってちょっといい粗品付きのチラシを数十枚配る方が効果的だと思う。渡して、数十秒話す。義務的にチラシを配ることが目的ではない、啓発(心に残る)することが目的だと思う。

## ◎防犯意識、安全なまちづくりについて

○犯罪が身近に起これば関心も増すが、普段は余り意識がないことを反省してます。

○最近は無差別殺人など、何のかかわりもない方々が被害に遭うのが恐ろしい。電車やバス、建物の中などの狭い空間の中などすぐに逃げられない状態で事件が起こるのは、本当に怖い。どう気をつけて、どうやって自分の身を守るのか、シミュレーションすることが非常に難しい。とても物騒な世の中になってきている。

○一昔前までは、在所から遠い田んぼの真ん中の道を通学していたが、さほど危険を感じなかった。それは、田んぼや畑で仕事している人が必ずおり、知らず知らずのうちに、地域での見守りが出来ていたからだと思う。意識せずに地域での見守りが出来る新たなシステムが今後必要と思う。

○自己管理もさることながら、地域との連携で情報の共有化で意識改革が必要かと思います。

## ◎その他

○犯罪抑制にご努力いただきありがとうございます。詐欺被害の注意啓発は銀行で目にし、いつも注意してみています。安全な地域であると過信しているので家の施錠は怠りがちです。それでも空き巣被害がないのは幸せであると思います。犬の散歩で歩いてくださるご近所さんに感謝です。